

4月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号
映画を早送りで観る人たち	稲田 豊史／著	778 イ
レ・ミゼラブル 1~5	ヴィクトール・ユゴー／著	ブン 953 1 1~5
ぼちぼちいこか	マイク=セイラー／さく	E ㊦
播磨灘物語 1~4	司馬 遼太郎／[著]	ブン F ㊦ 1~4
バベル 上・下 オックスフォード翻訳家革命秘史	R.F.クアン著	
睡眠の起源	金谷 啓之／著	481 カ
身近な薬物のはなし	松本 俊彦 著	493 マ
海賊とよばれた男 上・下	百田 尚樹／〔著〕	ブン F ㊦ 1・2
13歳からの地政学	田中 孝幸／著	YA 312 タ
極夜行	角幡 唯介／著	297 カ
空白の五マイル	角幡 唯介／著	292 カ
日本一の角打ち!明石・魚の棚商店街「たなか屋」の絶品つまみ	田中 裕子／著	596 タ
旅の絵本 1	安野光雅	E アン
もりのえほん	安野光雅	E アン

～ 読書会 memo ～

今回はお久しぶりの方も含め、6人の方にご参加いただきました。

『映画を早送りで観る人たち』は、つまらないと感じたら1.5倍速、会話のないシーンは即飛ばす、観る前にネタバレチェック…という現代の視聴スタイルが生まれた背景が知れる1冊です。

『レ・ミゼラブル』の2を読まれている紹介者は、フランス革命をある程度理解していないとかなり難しい内容とのことで、苦戦しながらも着々と読み進めていらっしゃいます。

『海賊とよばれた男』は、戦後の日本を舞台に、石油業界で一大旋風を巻き起こした実在する人物をモデルにした歴史経済小説です。現在、まさにイラン戦争によるホルムズ海峡封鎖という世界の大混乱のなか、非常に読みごたえのある作品だと思います。

『空白の五マイル』は、人跡未踏といわれるチベット奥地のツアンポー峡谷の初踏査へと挑んだ著者のノンフィクション書籍です。命を燃やし一生をかけて何かを追い求める素晴らしさや、生きていられることの奇跡や喜びが感じられ、紹介者は、当時失われていた「本を読む意欲」を復活させてくれた一冊だと語っていらっしゃいました。

今日もみなさん和気あいあいとした雰囲気の中、読書の楽しさを伝え合えた貴重な時間となりました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございます。

見学のみの参加も大歓迎です。たくさんのご参加をお待ちしています。

次回は 5月17日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。